

移動支援でつなげる地域のきずな

～持続可能な共助の輪をつくる～



スートン



ローリー

【ゼミ3班】

道路整備課
下水道整備課
公共建築課
健康づくり課

丸山信一
青山木一充
織田健司
北村満美
青木裕一
笹森信之

【指導担当】

人事課長

【アドバイザー】

総合政策課

目次

- **本市の現状と分析**
(高齢者の移動に関するニーズ調査結果より)
- **本市の移動支援の取組み**
- **「コミュニティ・カーシェアリング」でつながる地域づくり**
- **今後の展望**

3班 政策提言のテーマ

コミュニティ・カーシェアリングを
通したとともに支え合う地域づくり

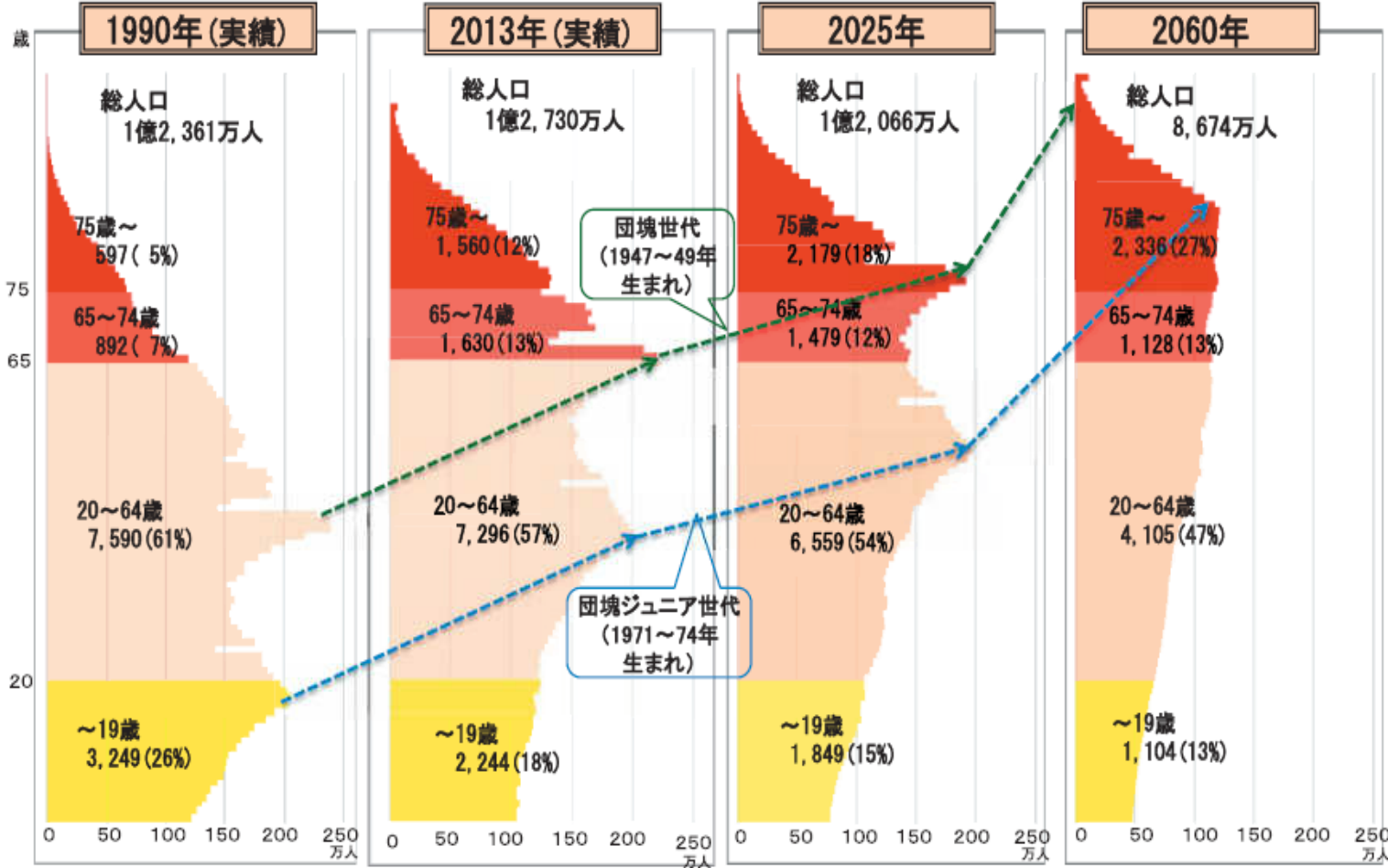


本市の現状と分析

(高齢者の移動に関するニーズ調査結果より)

秦野市の人口推計（全国の人口統計より）

○団塊の世代が全て75歳となる2025年には、75歳以上が全人口の18%となる。
 ○2060年には、人口は8,674万人にまで減少するが、一方で、65歳以上は全人口の約40%となる。



秦野市も全国同様

2019年現在
 65歳以上の高齢者は、
 26.3% 4人に1人の割合

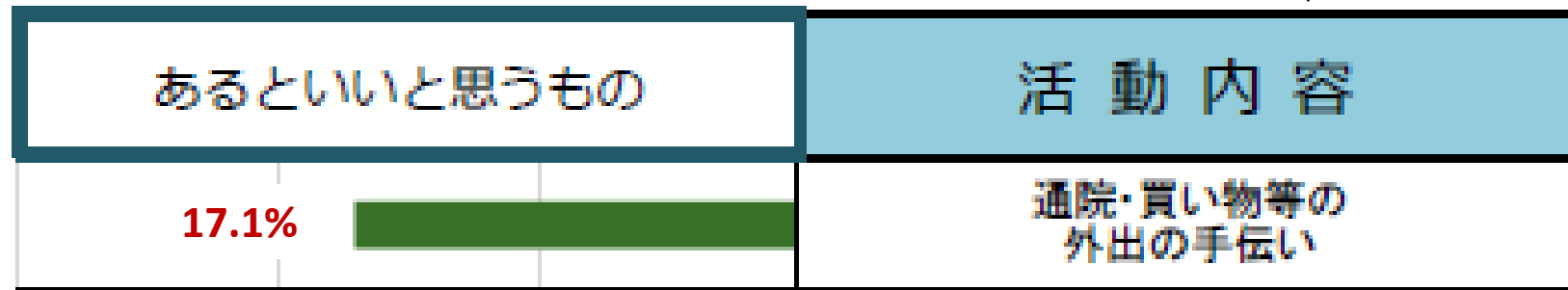
2025年は3人に1人、
 2060年5人に2人の割合

超高齢社会が続きます。

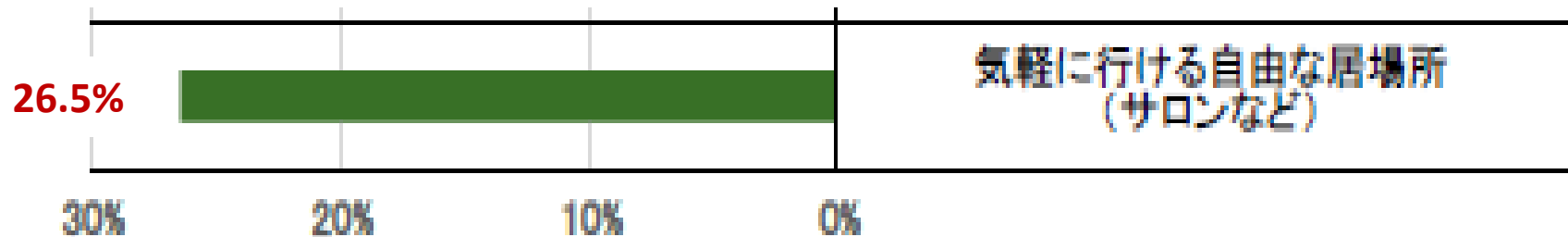
地域の支え合い活動について

- 「通院・買い物等の外出の手伝い」は17.1%

(n=1,741) 複数回答

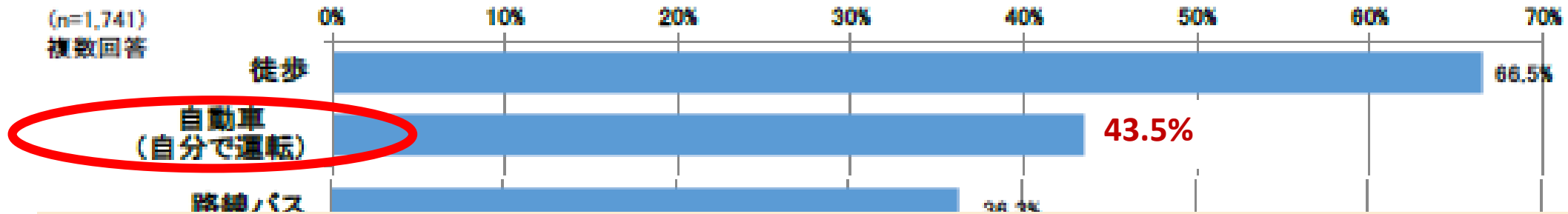


- 「気軽に行ける自由な居場所」が最も多く26.5%、



※資料：平成28年度秦野市介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

外出する際の移動手段について



7割の高齢者が自動車を使って外出している

- 「自分で運転する自動車」が43.5%、
- 「人に乗せてもらう自動車」が28.2%で、
- 合わせて71.7%が自動車を使って外出しています。

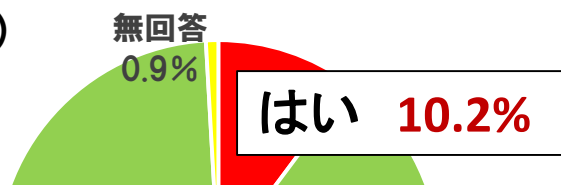
外出を控えているか・その理由について

■外出を控えているか

●65～74歳では「はい」が10.2%、75歳以上では29.3%

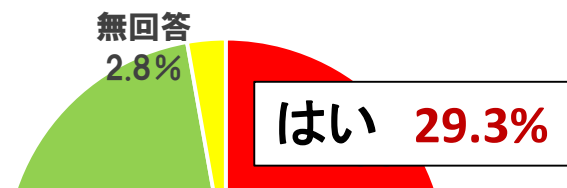
<65～74歳以上>

(n=872)



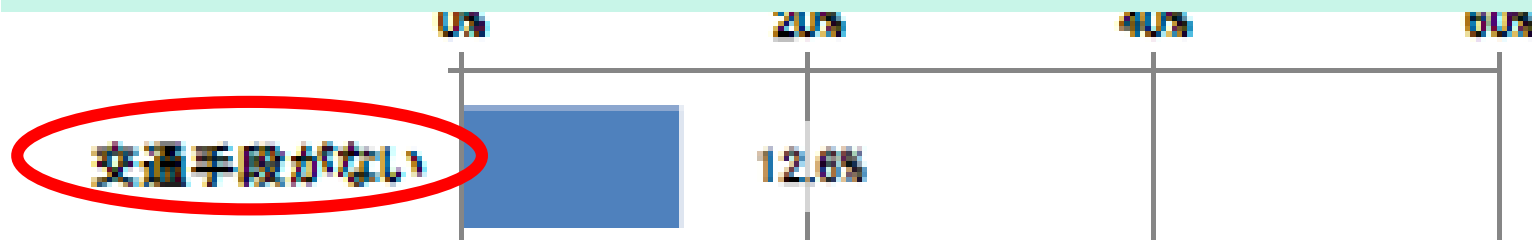
<75歳以上>

(n=860)



これからの時代は
「福祉＝交通」の時代が始まる！！

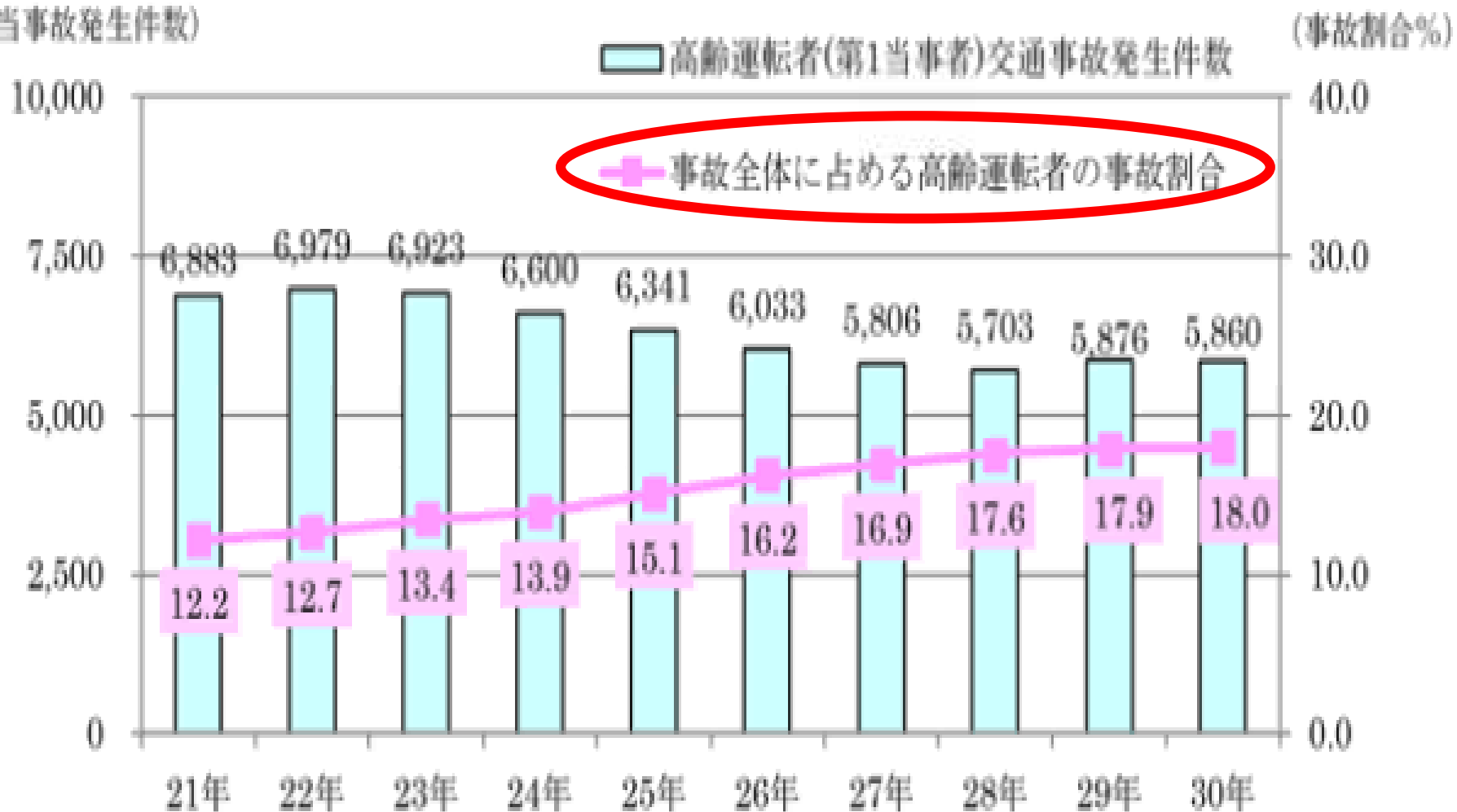
■夕



高齢運転者による交通事故発生状況

- 事故全体に占める高齢運転者の事故割合は増えている

(1当事故発生件数)



高齢運転者交通事故防止に向けた国の取組み

国においても平成29年7月に「高齢者の移動手段の確保に向けた環境整備」通達があった。

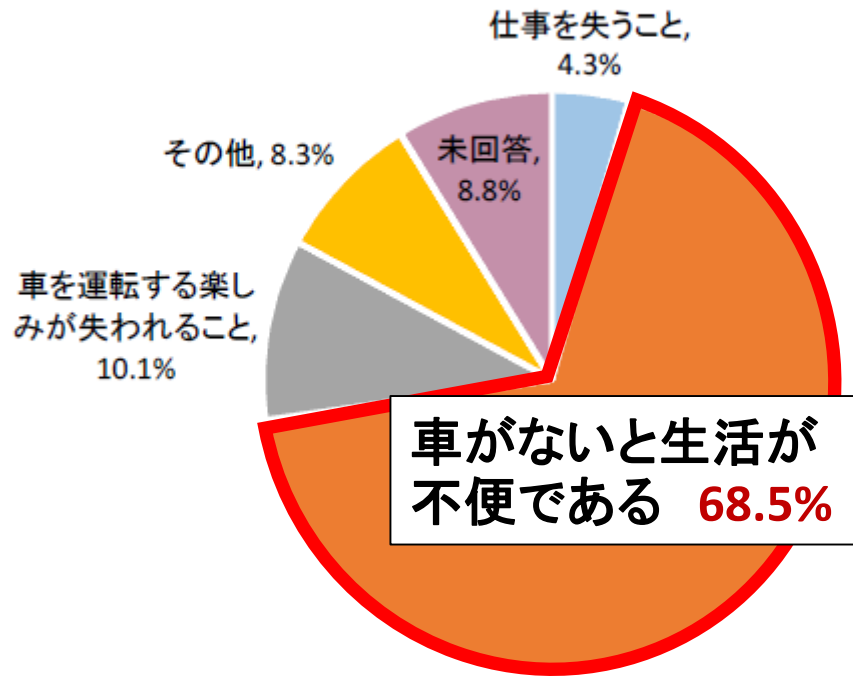
◆ 高齢運転者による交通事故防止対策に関する関係閣僚会議



運転免許証の自主返納に関わる状況

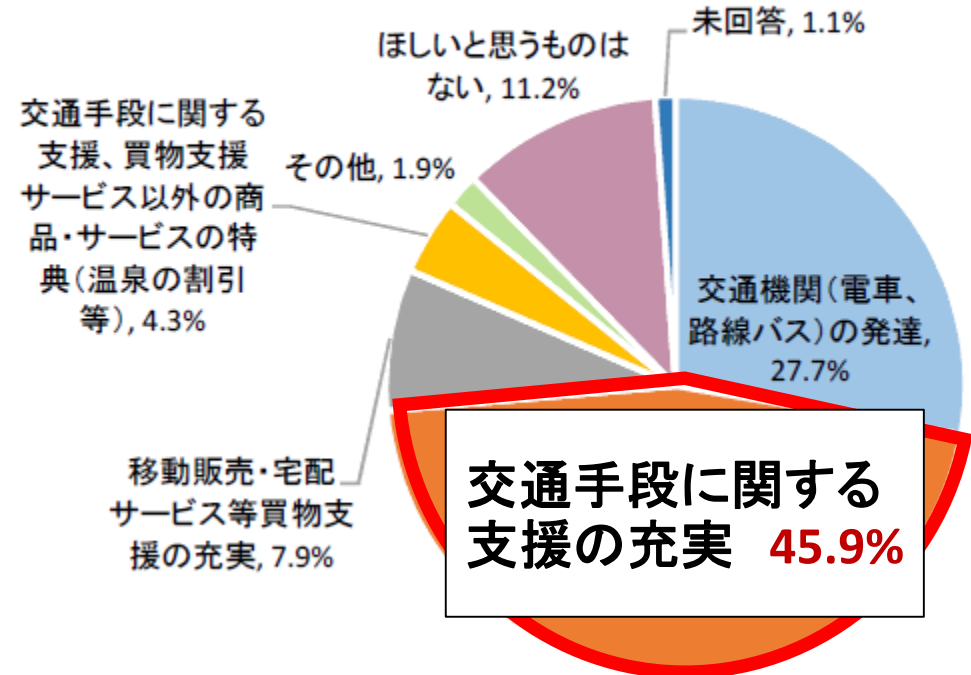
【自主返納をためらう理由】

運転継続者(444)



【運転継続者が求める支援の内容】

運転継続者(1494)



出典：運転免許証の自主返納に関するアンケート調査結果

平成27年度警察庁委託事業「刻々と変化する交通情勢に即応するための交通安全対策（高齢者講習に係る新たな制度及びその運用の在り方について）」に関する調査研究」報告書より

本市の移動支援の取組み状況

本市における高齢者の外出支援の状況

＜高齢介護課＞

- 訪問型サービスD「移動支援」の実施
- 地域支えあい型ドライバー研修の実施
- バスの乗り方講座（高齢者向け）

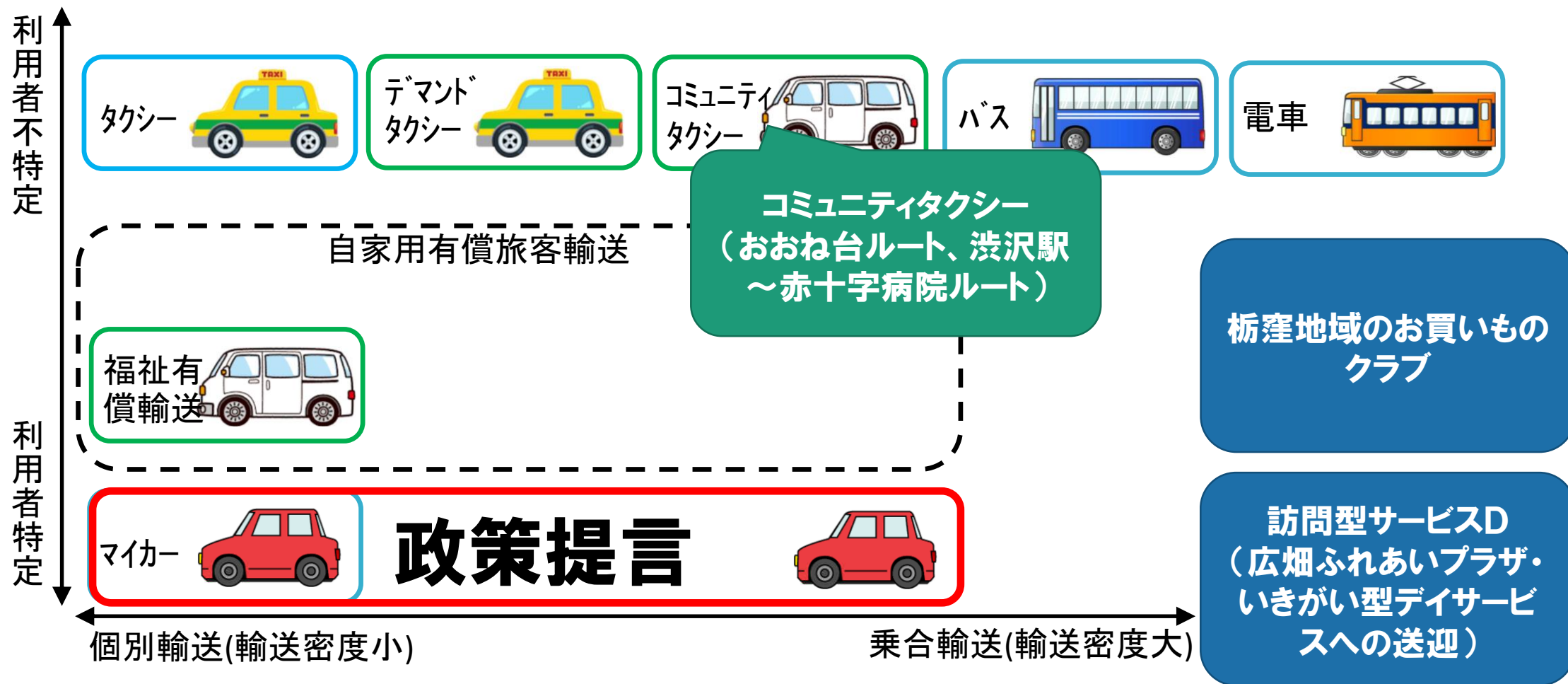
＜交通住宅課＞

- 移送サービスの提供
- かみちゃん号
- デマンド型乗合タクシー
 （渋沢駅⇔栃窪・渋沢エリア）

➤ 「福祉」と「交通」の連携は全国でも先駆的に取り組んでいる



本市における高齢者の外出手段の分類



利用者特性と輸送密度による分類図

政策提言

ラストワンマイル
の移動手段

+

地域での助け合い
(共助)

融合

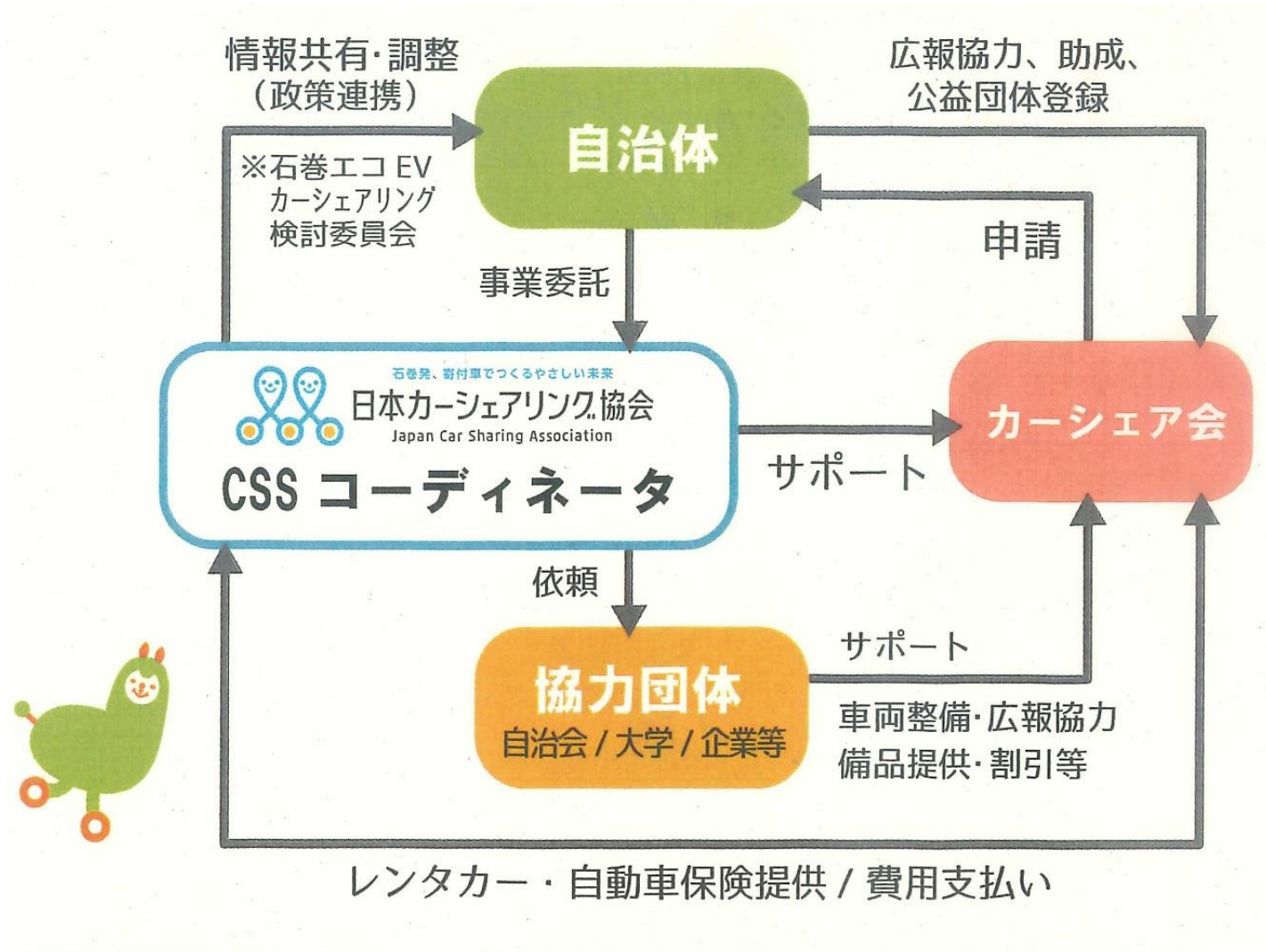


「コミュニティ・カーシェアリング」



「コミュニティ・カーシェアリング」でつながる 地域づくり

石巻市の連携体制図



実践している石巻市の皆さん

吉野町カーシェア会



新西前沼カーシェア会



中央カーシェア会



門脇カーシェア会



不動町カーシェア会



三ツ股カーシェア会



大門カーシェア会



渡波カーシェア会



新立野カーシェア会



石巻以外の
地域で実践
されている
皆さん ▶

しちやろう会
(岡山県美作市)



小鳥の森カーシェア会
(岡山県岡山市)



目的は「支え合う地域づくり」

外出支援



乗り合い買い物・ランチ



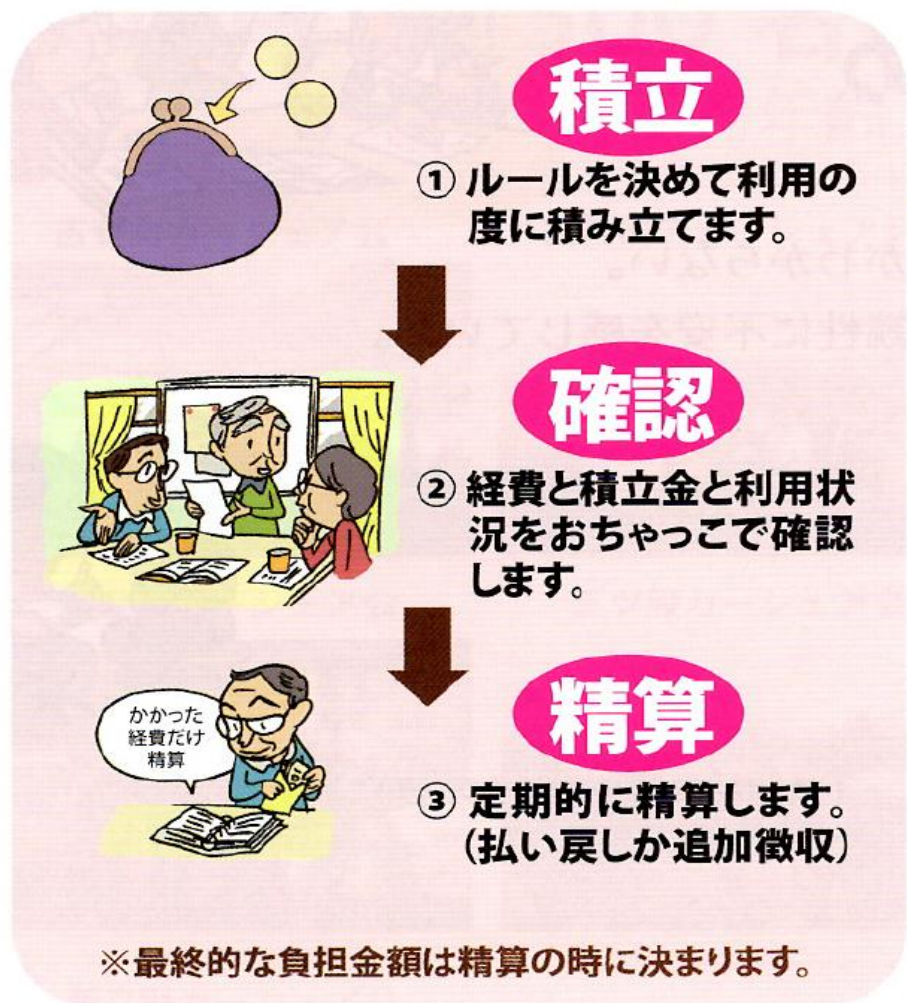
旅行



たまに使いたい人が使う



経費は実費を平等に負担①



積立ルールの一例 (各カーシェア会毎に異なります)

- 日常の外出支援 : 5km毎 500円
※上限2,500/日
- 個人利用 : 5km毎 500円
※上限2,500/日
- 買物ツアー : 600円/人
- お出かけツアー : 行き先や内容によって変更
(1,000円+実費程度/人)

経費は実費を平等に負担②

費用の試算（モデルケース）

会員20名のサークル活動

毎月の維持経費

【支出】	合計	43,000円	
カーリース代	35,000円		（自動車自賠責保険、車検含む）
ガソリン代	4,000円/月		
駐車場代	4,000円/月		

【収入】	合計	46,000円	
買い物ツアー	500円/5km×3人×4回	=	6,000円
外出支援	往復500円×20人×4回	=	40,000円

地域の人たちで運営する



活動の組み合わせがポイント

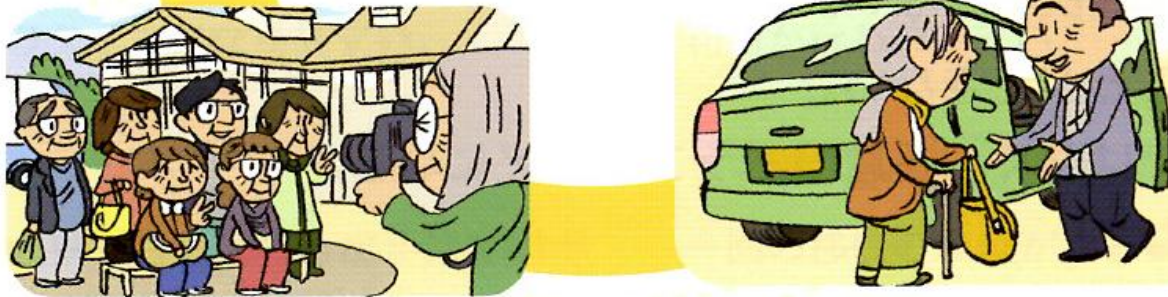
サロン活動



ツアー活動

合体

地域独自の活動を
プラス!!



外出支援活動

継続的な支え合い活動

今後の展望

本市への導入について

設立支援費用100万円／年
1地域導入後(3か月サポートプログラム)

自動車部品の無料
提供

連携協定締結

秦野市

企業

職業訓練校

事業委託

導入支援

支援依頼

無料タイヤ交換

(一社)日本カーシェアリング
協会

運営サポート

利用団体

導入に向けての流れ

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市	<p>事前調査(候補地選定)</p> <p>CSSとの協定締結</p>	<p>CSSへ事業委託 100万/年</p> <p>ボランティアドライバーの発掘、育成</p>	<p>情報共有・調整</p>
利用団体	<p>シェア会設立</p>	<p>テスト運行→本運行</p> <p>定期会合</p>	<p>継続</p>
CSS	<p>サポートプログラム</p>	<p>利用団体とのリース契約</p>	

コミュニティ・カーシェアリングの担い手 となりうる団体について

- おおね台地域のおたすけ隊
- 栃窪地域のお買いものクラブ
- くずは台自治会（友遊サロン）
- 山谷自治会



取り組みの効果について

1. 生活の質の向上

- (1) 外出機会の確保による生活意欲・精神の健康回復
- (2) 社会参加の促進による介護予防

2. 免許返納

3. 地域コミュニティの強化

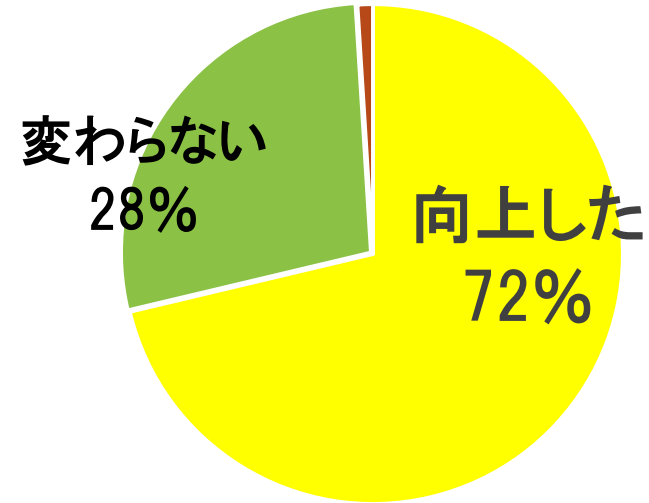
4. イベント時や災害時の利活用

効果 1. 生活の質の向上

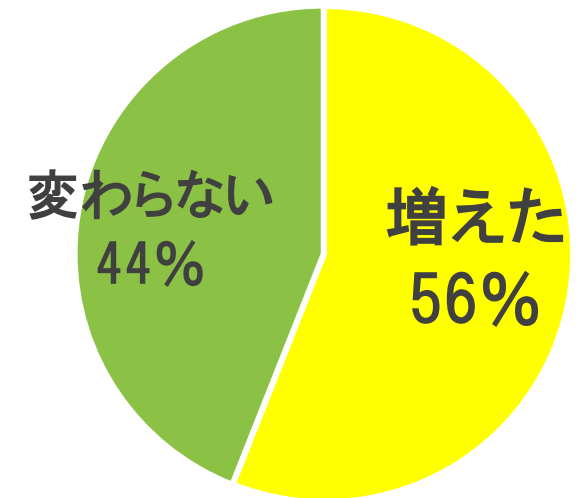
外出機会の確保による生活意欲の向上、精神の健康回復

- 通院、買い物等への外出サポート
- 気の合う仲間とのお出掛け会
- 移動弱者・引きこもりの減少
- 楽しみの共有

Q. 気持ちに変化はありましたか？



Q. 日常的にあいさつや世間話をする人が増えましたか？



効果2. 免許返納

- ・ 高齢者による交通事故の減少
- ・ 高齢者を見守る家族の安心
- ・ 車両維持費の削減



効果3. 地域コミュニティの強化 ～支え合う地域づくり～

- ・ ツアー活動（花見や旅行など）の実施
- ・ 地域の助け合い強化
- ・ 民間協力によるサポート体制

➡ 持続可能な共助の輪ができる



効果4. イベント時や災害時の利活用 ～コミュニティで支える地域防災～



- ・避難拠点での非常用電源（E V車）
- ・災害時の車両提供
- ・情報の収集・発信

⇒ 共助で支える災害対策



防災訓練の様子

一台の車から、
会話が生まれ、絆が生まれ、
未来が生まれる！



ご清聴ありがとうございました

